



## 「児童生徒の確かな成長へ」

教頭（参与） 片山 利明

2021年がスタートして、早くも2月を迎えました。例年になく厳しい寒さが続いた1月が終わり、間もなく立春を迎えます。日差しのパワーが高まり徐々に暖かさを感じる早春の季節となりました。こうした中、総勢279名の児童生徒は、明るく元気に3学期を過ごしています。

ご案内のとおり、本県を含む1都3県の「緊急事態宣言」（1/7～2/7）発令に伴い、県教育委員会の方針を踏まえ、新たに学校行事（外部対象等の行事中止）の見直しを図り、現在は、更にコロナ対策に万全を期しながら、全職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

このような中、校内巡回をしていると、小学部では、児童に「新春の集い」として、プロジェクターで鳥居を映し、初詣をする姿を見せたり、実際にダンボールや新聞で鳥居や達磨作りを行い、絵馬に願いを託すなど日本の伝統文化について学びました。

中学部では、全生徒に本物の楽器の音色や歌声を楽しんでもらおうと、「新春コンサート」を開催しました。生徒達は音楽の先生方の名曲や人気アニメのピアノ演奏や素敵な歌声に聴き入るとともに、10周年ソングコーナーでは全員が立ち上がり、踊りを通じて身体全体で表現していました。高等部では、卒業後を見据え、朝運動や作業学習等の実施、更には修学旅行を目前に3年生による千葉県観光の特産についてまとめ、クラス毎に発表しました。このように先生方の児童生徒に寄り添った指導支援は、主体的な取り組みや様々な成長へと繋がる姿など、随所に伺えました。

“将来の自立や社会参加に向けて、障害特性を踏まえ、児童生徒一人一人のニーズに応じた確かな成長は、保護者の願いであり、我々教職員の大きな喜びであります。”

先日、職員会議に本年度の学校評価に関する「保護者アンケート」集計結果が提出されました。本年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、休校、更には学校行事の中止や延期を余儀なくされ、本来の教育活動が大幅に制限された中でのアンケート実施でしたが、保護者の皆様から頂いた全体評価は、「約9割」が良く出来ている・大体出来ているとの評価内容でした。改めて、感謝申し上げる次第です。

今後も創立10周年の伝統と実績を基に、更に本校の教育力を向上させ、輝く児童生徒のニーズや保護者の期待に応えた教育活動の実現に全力で取り組んで参ります。

保護者の皆様には、引き続き、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

